

説教「その名はイエス、救い主」

マタイ一・一八〜二三

牧師 森田恭一郎

一人のみどり児が私たちのために生まれた。一人の男の子が私たちに与えられた。権威が彼の肩にある。その名は「驚くべき指導者、力ある神、

永遠の父、平和の君」と唱えられる(イザヤ九・

五)。イザヤが預言し待ち望んでいた神さまの御

子、天から降りて来られて、聖霊によってマリ

アのお腹に宿り、クリスマスの晩、お生まれにな

ります。天使は、このことをヨセフに夢で教えて

あげました。それからその夢の中で生まれてくる

男の子のお名前も教えてくれました。「マリアは

男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい」

(マタイ一・二三)。皆さん、男の子のお名前は？

(と問いかけて)「イエスさま！」(と答えてもらい

ます)。その通りです。

続けて天使は不思議なことを語ります。「この

子は自分の民を罪から救うからである」。「から」

というのは理由を表していますね。「この子は自

分の民を罪から救う」、だから、そういう理由で

「イエスと名付けなさい」。この二つの文章、うま

く繋がりますか？ それはイエスという名前の意

味を知ると分かります。イエスとは「主は救い」

という意味です。それで、自分の民を罪から救う

から、イエス主は救いと名付けなさい。繋がりに

ましたね。

お父さん、お母さんが子どもに願いを込めて名前を付けます。例えば、一郎という名前は一番目に授かった子という意味があります。嬉しかった

のでしょね。それから平和という名前の私の友だちがいます。この名前はそのまま平和という言葉です。平和の和と書いて和子さんという友だちもいます。きつと、みんなが仲良くなるようにという願いを込めています。神さまもこの男の子の名前に願いを、そしてご計画を込めました。この子は自分の民を罪から救う。だから「イエス主は救い」と名付けなさい。自分の民を罪から救うこの願いとご計画を込めています。

天使は、夢の中でもう一つ名前を言いました。旧約の時代に預言者が神さまから聞いた言葉です。

「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる」。インマヌエルという名前。これも意味があります。「神は我々と

共におられる」という意味です。ただ、名前と言っても、私たちは「インマヌエルさま」って呼んだことないですね。これは、イエスさまに出会う

と神さまは私たちと一緒におられる、という神さまの宣言です。また、イエスさまに罪を赦して戴いたら、神さまは私たちと一緒にいて下さる、と心から思えるようになりますよ、ということですよ。

この夢では天使は語りませんでした。イエスさまにはもう一つお名前があります。皆さんもよく知っていますよ。「キリスト」です。この意味は「救い主」という意味です。ですから、イエス・キリストと言えば「イエスさまは救い主です」と言い表していることになり。森田先生とさえ「森田さんは先生です」と言っているのと同じです。

このように、この男の子には三つの名前があるのです。主は救い、それは？「イエスさま！」。神は我々と共におられる、それは？「インマヌエル！」。イエスさまは救い主、それは？「イエス・キリスト！」ですね。

皆さんにはみんな名前があります。名前があるのだから、名前を呼んで欲しいですよ。せつかく名前があるのに誰も呼んでくれないとしたら寂しいです。クリスマスにお生まれになったこの男の子、天使が「その子をイエスと名付けなさい」と言いました。それは、その名を呼びかけなさいと私たちに促しているのです。「イエスさま」って。こう呼ぶことが、イエスさまに心を向け、心を開いて、キリスト教信仰の第一歩になります。それでは皆さん、大きな声で「イエスさま」って呼びかけてみましょう。「イエスさま！」。